

慶應杯通信



2023.11月 柔友会報 第136号



柔友会報 慶應杯特集

“来たれ若人”

慶應義塾體育會柔道部

Vol.21

第24回慶應杯開催にあたり

慶應義塾体育會柔道部

商学部4年 高圭佑

平素より大変お世話になっております。

2023年3月25日（土）に、慶應義塾大学日吉柔道場にて「第23回慶應杯争奪柔道大会」が開催されました。新型コロナウイルスの影響もあり、3年間開催に至らなかった本大会ですが、やっと4年ぶりに開催することができました。

さて、ここで慶應杯の意義について簡単に触れたいと思います。

一つ目は「高校生の進路の選択肢を広げられること」です。進学校から強豪校の生徒へ、進路の選択肢を提供できるとともに、慶應義塾柔道部の認知度を高めることができます。

二つ目は「試合機会が少ない生徒の経験の場となること」です。特に進学校の普段試合機会に恵まれない生徒たちに、試合経験を積んでいただける機会を提供しています。

今年は約60校330名の生徒に参加いただき、大変活気に溢れ盛り上がる試合となりました。塾高時代から選手として出場させていただき、特に思い出が強かった私としましては、この大会を我々の手で復活させることができたことをとても感慨深く感じております。

最後にはなりますが、大会の開催にあたりご指導ご協力賜りました参加校の先生方や塾柔道部OBの皆様方、誠にありがとうございました。塾柔道部員一同、心より感謝申し上げます。また、来春には「第24回慶應杯柔道大会」を企画しております。今年度の反省を踏まえ、より素晴らしい大会となるよう精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



『来たれ若人』

慶應義塾體育會柔道部

主将 都倉吏輝

慶應義塾體育會柔道部の歴史は古く、その源流は明治10年まで遡ります。福沢諭吉先生のお声掛けにより、和田義郎先生が、塾生に柔術を指導し始めたのが起源とされています。福沢先生は、「知育・徳育・体育がバランスよく行われてはじめて理想的な独立自尊の人が形成されるのである」とお考えになり、「心身之順是柔道」という言葉を残されました。

塾柔道部の目的は、ただ柔道が強くなることではありません。我々は、「柔道修行を通じて、慶應義塾の信念でもある『気品の泉源、知徳の模範』を実践し、『全社会的先導者』たる人間になること」を目指しています。

現在は30人を超える部員が在籍し、週6回の練習に精を出しています。全国大会上位入賞者から競技歴の浅い者まで、全員が文武両道を目指し、日々の稽古に取り組んでいます。また、普段から幼稚舎の生徒や偉大な先輩方と交流し、慶應義塾の縦の繋がりを強く感じることができるのも我が部の特徴です。こうした多種多様な人材と、塾柔道部の一員としてともに活動し、そのなかで揉まれていくことは、人間的な成長につながります。また、塾柔道部で得た先輩や同期、後輩との繋がりは文字通り一生ものです。

こうした環境は、他大学にはない塾柔道部ならではの素晴らしさでしょう。

最後に、このような環境で己を磨きたい、文武両道を体現したいという学生に対して、慶應義塾體育會柔道部は常に門戸を開いています。

私自身、4年間しかない貴重な学生生活を懸けて取り組むだけの価値がある部活だと確信しております。

志ある皆さんと、ともに活動できる日を楽しみにしております。

来たれ若人。未来の塾柔道部を担うのは君だ。



部員他己紹介

商4 都倉吏輝



ツナ缶をこよなく愛する塾柔道部の大黒柱、都倉吏輝。彼の巨漢から放たれる爆発的な内股によって涙を呑んだ強敵たちは数知れない。彼が大将ににいるという安心感はチームメイトに絶大な力を与える。彼が最後の大砦を務め、奪還を狙う今年の早慶戦でも、持ち前の強烈な内股で、必ずや慶応に勝利をもたらしてくれることだろう。

総2 井口虎太郎



暁星学園からきたイケメン柔道家井口。甘いマスクとチャーミングな笑顔で女性陣から大人気の彼だが、道着を着れば豹変する。堅実な組手で相手を捌き、激しく攻め立てる。大幅に増量したこともあり、片襟大外の破壊力は部内随一といっても過言ではない。部のイケメン担当、そして未来のエースとしての活躍を期待している。今年の彼からは目が離せない。

環4 須永陸也



ついに4年間の集大成を迎える副将、須永陸也。私生活ではクレカと学食を愛する儉約家で、バイトにも熱を注いでいる。一方、稽古、トレーニングに対しては誰よりもストイックで、壁かと思う程のデカすぎる背中から繰り出される大外刈りで何人も部員を畳に突き刺してきた。柔道人生の節目となる早慶戦でも大活躍してくれるに違いない。

法3 野上恭平



誰よりもプライドが高く、負けず嫌いな陰の努力家野上恭平。「負けん気」を原動力に3年間努力を続けた結果、体は二回りほど大きくなり、強靱な体力を身につけた。部内随一の技術と力を兼ね備えたこの男は誰にも止められない。軽量級ながら今後の塾柔道部を勝利に導くキーパーソンとなるだろう。

総2 酒井ひろの



酒井ひろの、淑徳での英才教育を受けた天才児とは彼女のことである。キレのある大内刈り、内股を巧みに繰り出す彼女の前に立っている者は居ない。早慶戦では持ち前の力を活かして勝利を手繰り寄せてくれるに違いない。

経3 小林謙太



みんな大好きムードメーカー、小林謙太。彼の魅力は塾柔道部内だけにとどまらず、筆者の母親までも虜にしている。また、僭越ながら筆者は小林会に所属している。会の開催はもう無いと言われたが、次回はどうかと聞いてくるなど、なんだかんだ優しい。更に、後輩と技の研究をするなど柔道にもひたむきな一面がある。柔道にも後輩にもツンデレな小林謙太先輩。新技も小林会も楽しみにしています！

文3 松永蓮太郎



塾柔道部のエースにして頼りになる、背中 of 大きな漢。彼の持ち味は、破壊力抜群、脳天直下の大外刈とその大外刈をフェイントに使った多彩な技、そして膝をついたら最後、三角や加藤返しなどに瞬時に派生する寝技だ。これらの技術は小・中学生時代の血のにじむような努力で習得した。実に「努力家」である。度重なる怪我を乗り越えて更に成長していく彼の姿と、その彼が率いる次年度のチームに、乞うご期待。

商2 土屋実里留



塾柔道部のおしゃべり枠土屋実里留、通称ミリちゃん。彼女の底なしの明るさは塾柔道部に活気と元気もたらしてくれるのみならず、部員同士の繋がり強化にも一役買ってくれている。そんな彼女はツッコミ担当。多くの部員が彼女のツッコミを日々楽しみにしており、正真正銘の愛されキャラなのである。

しかしマネージャーとしての手腕は侮ることができない。日々部のために身を粉にして貢献してくれている。彼女が紡ぐ塾柔道部の絆はこれからも強固になっていくだろう。

法4 細谷颯太



自分に厳しく他人に優しい人類のお手本のような漢、細谷颯太。彼の柔道に対する熱い思いとストイックで真剣な姿、それに比例するアニメのような肉体美を見れば老若男女惚れるに決まっている。さらに、優しく面白いお茶目な内面を知ってしまったらもう颯太沼へようこそ。部員全員が颯太さんに沼っている。そんな完璧な彼の柔道から目が離せないこと間違いなし。

商3 藤井大志



「刃牙」に出てきそうな身体を持つ軽量級エース藤井大志。塾柔道部で圧倒的な低身長という特大コンプレックスを跳ね除けるようなそのスペックの高さは筆者も羨望の眼差しを向けている。こんな事書いたら怒られそうといえそうだけど、優しい大志先輩なら許してくれるはず。

高校時代には休み時間のインターバル走で培ったド根性と、猿になるほど登りまくった綱で得た組み力で勝利をもたらしてくれるだろう。

経4 望月あかり



塾柔道部の太陽・望月あかり。彼女の皆を照らすような笑顔と優しさに癒されている部員も少なくないだろう。柔道部を愛しすぎたあまり一時期、プレイヤー転向を噂されたとかされてないとか。そんな元気溼刺なあかりさんだが、実は歴代で初めてマネージャーと主務を兼任したウルトラスーパー敏腕マネージャーなのだ。彼女の裏方での活躍が柔道部に必要不可欠なのは間違いない。いつもありがとうございます！

総3 澤田康太



様々なスポーツ選手の勇姿を見届ける姿が印象的な澤田さん。数多の試合観戦で培った勝負師の勘は柔道でも存分に発揮されており、力強い柔道姿はとても魅力的だ。しかしなんと言っても、彼の素敵なのはその面倒見の良さだろう。澤田さんは本当に良い人だというタレコミは多く、彼は不可欠な存在のようだ。後輩の試合がどんな結果でも見守る澤田さん、しかしスポーツ観戦の結果如何では、道場から聞こえる奇声が彼のものだったり

総 2 島田智宏



頼れる慶應の新兵器、島田智宏、通称『トモ』。昨秋に電撃入部を果たした彼も戸狩合宿を経て大きくパワーアップした。柔道も勉強にも全力投球な彼の姿に鼓舞される部員も少なくないはずだ。しかしその一方、笑顔でハードなトレーニングを提案してくる姿に恐れる部員もいるそうだ。

一見、真面目に見える彼だが意外にもサブカルチャーにも精通していて、詳しい。一体何だったらトモに勝ることができるのだろうか、誰か教えていただきたい。

総 3 櫻井湖太郎 コリー



櫻井湖太郎コリーの朝は遅い。深酒でもしたのだろう。しかし、そんな彼のまわりには同期や後輩が集まる。気さくで朗らかな性格が皆を笑顔するのだ。素敵な人だと感心している読者の方よ、用心せよ。この男、いや、この漢、柔道においては正に野獣の如き。持ち前の体躯とレスリング仕込みのタックルでこれまで数々の相手を沈めてきた。その犠牲者の一人として、筆者はこれから彼と戦う相手にただ同情するのみである。

法 3 進士凱一



甘いマスク、流暢な英語、優しい性格とハイスペックグッドガイ、進士凱一。彼の柔道は徹底した組み手をベースに絶妙なタイミングで繰り出される左右の担ぎ技が絶品だ。練習では誰よりも練習し、終始前に出て気迫を全面に出している。部活外でも穏やかな優しい先輩であり、大好きな先輩だ。今後の進士凱一の活躍に目が離せない！

商 4 高圭佑



親切、賢い、そしてセクシー、この3つが彼には当てはまる。J-POPの知識は部内の誰よりも豊富で、多くの曲を分析する彼は人の心も理解する。彼は部のみんなにとって先生であり、兄弟であり、友人のような存在だ。彼の優しさは、誰もが彼のそばにいたいと思わせるものだ。しかし、彼を舐めてはいけない。柔道場に足を踏み入れ瞬間、彼は別人のように変わる。速やか、柔らかい、正確。誰も彼に追いつくことはできない。強すぎです先輩！

法 3 猪熊彩



塾柔道部随一の仕事人いのくま。

彼女の柔道は 3 手先を読んだ気配り力と磨かれた共感力でどんな相手でも翻弄していくスタイル。誰とでもすぐに打ち解け、相手に合わせた対応ができる技巧派である。普段は望月主務の右腕としてバリバリ仕事をこなす一方で実は思慮深い一面も。塾柔道部や早慶戦に対する秘めた想いはアツく、いのくまの日々の頑張りに部員は強く刺激を受けている。来たる早慶戦、選手とともに闘う彼女からも目が離せない。

商 3 南雲宥位



怪我という試練に打ち勝ち、コツコツとリハビリ、トレーニングに励んできた漢。復帰後、怪我の期間に培ってきた身体のを活かし豪快な払い腰、そして担ぎ技を武器に数々の部員を畳に沈めている。しかし、畳からおりと櫻坂への愛溢れるトークを武器に誰とでも和やかに話ができる、場を和ませる天才である。豪快な投げ技を武器に、勝利を掴み、必ずチームに貢献してくれるに違いない。

商 2 入道隼人



柔道とプライベートを常に両立させている男、入道隼人。どこからそんな体力が湧き出ているのか理解ができないが、「今日は何か予定があるんですか。」と聞くと予定が入ってない日はない。後輩として毎日を充実させる方法を学びたい。

そんな彼はどんな状況であろうと長身と手足の長さを活かした奥襟を叩き続ける柔道スタイルを持つ。

日頃から培った体力を用いて塾柔道部の勝利に貢献することは間違いない。

商 4 平山雅士



イケメン、彫刻の様な身体、キレッキレな背負い投げに加え、昨年度は公認会計士試験にも合格しており、カリスマ的な頭脳も兼ね備えている。最近はプライベートも充実し始めているとか…? そんな部内で 1 番キテいる平山雅士。筆者はそんな肉体美や頭脳を作り上げた先輩の努力を学んでいきたい。

経3 土屋文乃



マネージャー界のシゴデキ代表ふーちゃん。彼女は可憐な笑顔で颯爽と仕事をこなす。常に笑顔を絶やさないそのメンタリティはプロ顔負けである。そんな彼女だが、大相撲好きという意外な一面があり、驚くような大御所力士とのツーショットをSNSでよく目にする。塾柔道部部屋の女将として、部員を支え続けるふーちゃんを是非応援してほしい。

法3 成宮陸雄



鍛え上げられた肉体、こんがりとした焼けた肌がトレードマークの成宮陸雄先輩。普段は、寡黙でキリッとした鋭い目つきで黙々と練習をこなしているが、時たまにみせる素敵なお笑顔とボソッ出るユニークな一言で場を和ませる優しい性格の持ち主でもあり、ギャップ性”も彼の魅力の一つである。先日の体脂肪測定では、思わぬ結果が出ず落ち込んでいたが、一段と大きくなった身体と内に秘めた闘志と共に鍛錬をする彼の今後の活躍に目が離せない。

新入生自己紹介

総1 宗広泰河



出身校：福井工業大学附属福井高等学校

階級：73kg 級

段位：弐段

趣味：歌唱、映画・ドラマ鑑賞

私は高校最後のインターハイで柔道から離れると一度決心しました。しかし受験での一般入試合格という結果から、今こうして塾柔道部という素晴らしい環境で柔道続けることができ、やるからにはもう一度日本一を目指し、少しでも塾柔道部に貢献できるように精進していきたいと思います。

理1 石島大誠



出身校 慶應義塾高等学校

階級：81kg 級

段位：弐段

趣味 ゲーム、音楽鑑賞

理工学部の勉強と柔道を両立するのは大変ですが、毎日が充実しています。大学柔道のレベルの高さに心が折れそうにもなりましたが、自分の柔道に真摯に向き合い、足りない部分を補強するための練習を行っています。これまで培ってきた経験や技術をもとに長所を伸ばして、全日本学生に出場できるように頑張ります。

商1 大月楓



出身校：関西大学第一高等学校

階級：60kg

段位：弐段

趣味：睡眠

大学生というとても自由度の高い環境下において、4年間をなんとなく過ごすのではなく、自分を成長させるよう努めます。日常生活を緻密にマネジメントし、柔道、勉学、人付き合い、全てにストイックに取り組んで参ります。ご指導ご鞭撻宜しくお願ひ致します。

薬学部1 海部花



出身校：慶應義塾湘南藤沢高等部

趣味：海浴いで過ごすこと

塾柔道部に携わらせていただけること、とても嬉しく思います。主に中高の部活動で培った経験を生かし、皆様が少しでも良い環境で練習に励むことができるよう、何が必要か常に考え工夫して参ります。また、初めてのマネージャー業ですが、先輩から多くのことを吸収し、自身の行動に責任を持てるよう精進します。

商1 山田陸斗



出身校：慶應義塾高校

階級：90kg

段位：弐段

趣味：絵を描くこと

幼少期から大学生の現在に至るまでの間柔道が続けてきましたが、私自身個人戦での全国大会出場という目標をどのカテゴリーでも成し得ることはできませんでした。そのため大学在学中にその目標を達成すべく日々の稽古に励み、周りの方々の期待に応えられるよう頑張ります。ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

経2 長谷川大雅



出身校：慶應義塾ニューヨーク学院

階級：90kg

段位：無段

趣味：スポーツ観戦、映画鑑賞、ショッピング

今年の4月なら柔道をはじめるまで経験がなく、主にラグビーやアメフトをやっていました。未だに不慣れな部分が多く、迷惑をかけてしまう事もあるかもしれませんが、先輩方や同級生を含め、経験者からの教を積極的に乞い、いち早く塾柔道部の戦力になれるよう精進していきます。

商1 山元惇暉



出身校：慶應義塾高校

階級：66kg 級

段位：弐段

趣味：サウナ

伝統ある慶應義塾大学柔道部の一員になれて、大変嬉しく思います。私は、高校時代には何も結果を残せなかったため、柔道人生集大成である大学柔道で必ず結果を残し、塾柔道部に貢献できるように精進させていただきます。また、今年の早慶戦にも出場させて頂く為、チームに大きな波を持って来られるような試合をし、チームの勝利に貢献します。

経1 石村 勇人



出身校：慶應義塾湘南藤沢高等部

階級：100kg

段位：弐段

趣味：なし

大学生になり、練習も私生活も全て自分が責任を持って行わなくてはいけない環境になりました。そのため、毎日の練習、トレーニングをサボり怠けることは簡単に出来ますが、自分に厳しく、日々の練習をコツコツと積み重ねて大学で大きく活躍したいです。

文1 呉銅敏



出身校：西海高等学校

階級：73kg

段位：無段

趣味：読書、推し活、ショッピング、散歩、ドラマ

柔道が好きという一念で、韓国での兵役を終えてすぐ塾に復学し、塾柔道部に入部させていただきました。しかし、自分と選手たちとの実力差をしみじみと実感しています。そのお陰で自身への失望は怒りとなり、結局はやる気へと変貌しました。最強になるという目標に向けて、闘志を燃やしていきたいと思います。

文1 韓俊成



出身校：西海高等学校

階級：73kg

段位：無段

趣味：ランニング、部屋の掃除、ジャルジャルのコントを見ること

徴兵に行く前、少しだけ柔道を経験したことがありましたが、本格的に柔道に臨むことは今度が初めてです。まだ基礎的なことすらしっかりできない素人です。しかし、兵役の経験を通じて身についた「絶対言い訳などはしない。最後までやり抜く」という心構えをもとに、早く部において役に立てる戦力になりたいです。

第73回早慶対抗柔道戦

総合政策学部3年 澤田康太

塾柔道部員なら誰もが憧れる夢の舞台『早慶戦』。男子は前人未だの四連覇、女子は悲願の二連覇を狙う慶應。男女共に昨年のリベンジに燃える早稲田。今年も世紀の一戦が柔道の聖地『講道館』にて始まった。

そして迎えた女子先鋒戦。西木（慶應）が終始攻め続け、得意の内股で吉木（早稲田）から技有りを取り、そのまま上四方固で一本をもぎ取った。最高のスタートを切った慶應、続く中堅戦では酒井（慶應）が試合を決めにいく猛攻を見せるが大森（早稲田）が一瞬の隙を逃さず、一本を取られてしまう。結果としては4年で主将の石川（慶應）に勝負の行方を預けることになった。大将戦石川は体格の良い黒田（早稲田）に対して相手のペースにまれないように間合いや組み手、そして足持ちを活用して試合を進めていく。しかし黒田の強靱な技や体格の差もあり石川への指導の枚数が増え、石川の猛攻も届かず指導差で早稲田に優勝杯を明け渡すことになった。

続く男子。初戦となる先鋒戦、早稲田は大胆にも大型ルーキーの笠井（早稲田）、慶應は引退試合となる依田（慶應）というベテランとルーキーが争う形になった。笠井（早稲田）の見事な袖釣込腰で初戦は取られたが、都倉（慶應）が意地の柔道を見せ引き分けに持ち込む。続く池田（早稲田）が試合終了間近に大外刈で高（慶應）から優勢を取り、松永（慶應）も引き分けに持ち込まれ早稲田がリード。さらに全柔道ファンからの注目を集める中野（早稲田）が4人抜きをするが、細谷（慶應）の素早く手堅い柔道で抑え、中野の進撃を止めた。しかし慶應も負けじとピーダーセン（慶應）が橋本（早稲田）を抜き、重量級の角田（早稲田）を止め、慶應の意地とプライドを見せつけた。しかしその後も早稲田の勢いは止まらず中堅の飯田（早稲田）と副将の飯田（慶應）という兄弟対決が実現し、引き分けに終わった。大将戦は杉村（慶應）の得意の内股で渋田（早稲田）を畳に沈め、四年間の集大成となる技を両校の後輩に見せつけた。続く横田（早稲田）6分という長い死闘の末、引き分けに終わった。結果としては早稲田の圧勝という力の差を見せつけられた内容ではあったが、慶應の大将は負けない、負けて試合を終わらないという意地を痛感させる試合であった。彼の残した意志の灯火は今後の塾柔道部に受け継がれ、大きな炎の渦となって帰ってくるはずだ。意地と実力を兼ね備えた4年生の引退と共に、『奪還』を掲げたチーム都倉が始動する。慶應柔道部の躍進は止まらない。



2023年度全日本学生柔道優勝大会

総合政策学部3年 櫻井湖太郎コリー

<一回戦>

本塾0-2 熊本学園大学

東京学生優勝大会で出た多くの反省点をチームとして見返し、ベスト8を目指し臨んだ試合であった。初戦で熊本学園大学と対戦。先鋒の澤田が猛攻を仕掛けて序盤に支えつり込み足で技ありを取り、有利に試合を進めた。しかし、その後支えつり込み足で惜しくも敗れてしまった。続く次鋒では都倉が得意の内股で果敢に攻め込み、崩れた相手に袈裟固めで危なげなく一本を手にした。続く五将の細谷、中堅の櫻井、三将の須永、副将の松永と四人続けて引き分けが続き、当初の予定での前半でリードする事は叶わなかった。両者一步も譲らぬまま試合が運ばれた大将戦、本塾からは一年生にして宗広に勝負が託された。力強い組手で攻めてくる相手を得意の背負いで翻弄し、裏をかいた小外刈りで技ありを奪取、優勢に試合を進める。そこから相手の技を捌きながら背負いと寝技で攻めて試合時間残り僅かとなった。しかし相手の払い巻き込みで一本を取られてしまい、1-2という結果で終わった。

東京都学生で危うくも接戦で手にした全日本学生優勝大会の出場権、各々が役割を背負い、徹底して稽古に取り組んできた。しかし結果は悔しくも結果は一回戦敗退であった。昨年度の早慶戦での敗退から早慶戦の「奪還」を誓ったチーム都倉、早慶戦まで残るは一か月である。悔しい思いはもう十分、各々の課題は既に明確である。今回の敗北を必ず無駄にはしてはいけない。早慶戦優勝を達成できるよう、日々の稽古を大切にし、精進していきたい。



2023年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会

環境情報学部 4年 須永陸也

<一回戦>

本塾 1-4 皇学館大学

一日目、初戦の相手は東海地方一位通過の皇学館大学。試合が始まる。先鋒は終始攻撃の手を止めず、試合を進めるが引き分け。次鋒で流れを掴もうとするが、攻めに出たところに技を合わされ、敗退。ビハインドで迎えた五将戦、一点を取り返そうと序盤から積極的に技を出し続けるが、有効打が出ず焦りが出る。そこに相手の技が嵌り、技有を失う。そのまま試合が終わり、スコアは0-2。絶体絶命のピンチで、必ず一点を取り返したい場面で中堅戦が開始。組み手で相手を制する場面もあり、立ち上がりは上々。しかし、決定的な場面を作れないまま中盤へ。一瞬、消極的になった所を相手は見逃さず、寝技で押さえ込まれる。これによりさらに失点を重ねる。三将戦は強者相手に相手の柔道をさせず、有利に試合を進めるが、決定的な場面を作ることはできず、引き分け。この時点で敗退が決まった。続く副将が失点したが、大将が一矢報いようと相手を圧倒し、1点を返す。最終スコアは1-4となった。次鋒、五将、中堅と、3人続けて4年生が敗退するという情けない結果に終わり、チームのために健闘してくれた3年生、他部員に非常に申し訳ない結果となった。また、チームとしても課題が明確になる試合になった。続く早慶戦に向け、各々の柔道を見つめ直し、チーム一丸となって稽古に励んでいく。



2023年度全日本学生柔道優勝大会体重別個人

文学部 3年 松永蓮太郎

私は今年、誰もが憧れる全日本学生個人の舞台について立つことができた。高校時代からの夢だったこの大会に出場することは最上級生として今後を最前線で担うために大前提だと考えていた。だから出場を決められた瞬間は身に余る喜びがあった。弱い者はチームの最前に立つにはふさわしくない。そんなプライドを持って予選を文字通り、命をかけて戦った末の舞台だった。憧れていた日本武道館という舞台は大きく、明るく、そして独特な緊張感が漂っていた。ギラギラした闘志に包まれたそこは確かに憧れた舞台で、夢の在処だった。そして果てだと考えていた自分に気づいた。そんな私が勝てるはずもなかった。試合では相手の闘気溢れる組み手、長い手足に苦戦を強いられすぐに指導2をもらった。後がなくなり、ビハインドで雑な攻めをした瞬間に相手の策略にはまり大内刈りで技ありを取られてしまった。なおも攻めることを強いられる展開の果て、組み手の弱さが決定打となり攻めきれず最後の指導をもらった。全日本の舞台は決して夢の限界ではなく、その先があることを痛感した。自分を差し置いて活躍する同年代の者がいることが許せなかった。ここに至るまでのプロセスは仲間に伝えなければいけない。チームの核として勝利とはなんたるかを伝えなければいけない。それは私にしかできない。その責任感が私を更に強くする。最高の経験をすることができた。

2023 年度東京都学生柔道体重別選手権大会

法学部法律学科 3 年 野上恭平

柔道家なら誰しも一度は目標に掲げるであろう「全国大会出場」、大学 3 年生になりジュニアの試合に出場ができない私にとっては一年に一回のチャンスです。昨年の反省から今年は階級を 60 キロ級から 66 キロ級に上げました。過度な減量をすることなく、自分の最大限の実力を本番で発揮するためです。

試合当日、大学一年生からの課題である初戦を迎えました。組み手で積極的に前に出ることで相手に圧をかけ足技からの関節技で勝負を決めました。昨年からコーチとして来ていただいている伊藤盛一郎先生に教えていただいた腕十字固でした。日々の稽古で練習した動きが出て一つ安心しました。続いて 2 回戦、初戦は緊張で固まっていた体もほぐれ普段に近いコンディションで試合に望めました。初戦から意識している組み手の効果もあり早い段階で相手に指導が行与えられ、試合が再開された直後相手が崩れて亀になったところを得意の寝技で抑え込みました。抑え込んでいる時の 20 秒は普段の 2 倍のように長く感じます。パンパンに張る腕に力を込めなんとか一本を取りきりました。全日本学生まであと一つ、この時ほぐれていた緊張がまた襲ってきました。試合前から対策をしていた相手であり、過度に相手の技を意識して本戦で 2 個の指導をもらいました。続く延長戦ではこの 2 個の指導差をひっくり返そうと無理に技をかけたところを逃げの指導、結果は指導 3 の反則負けでした。あと 1 つの壁を突きつけられました。

偉大な先輩方が戦っていた全国の舞台に立つためには来年のこの東京都学生が最後のチャンスです。今回のように悔いの残らないように最後の 1 年を走り抜けたと思います。



東京都ジュニア柔道体重別選手権大会

商学部1年 山元惇暉

7月10日に東京武道館にて東京都ジュニア柔道体重別選手権大会が開催されました。階級別の大会は、約一年振りとなっており、減量など様々な不安な要素がありながら目標である全日本ジュニア出場に向けて精進しておりました。私は66kg級で出場し、結果は3回戦敗退となり全日本ジュニアへと繋げることは叶いませんでした。反省点がたくさんあるのは勿論ですが、いい点もあり自信に繋がった場面もあった収穫のある良い大会でした。大学柔道のレベルの高さに食らいつき、結果を残せるように精進を続けて行こうと誓いました。私は来年も東京都ジュニアに出場する事が出来るため、さらにレベルアップし必ず全日本ジュニアに繋げる為に、考えながら柔道をしていこうと思います。

11月には早慶戦があります。高校生の頃、大学早慶戦の熱さ、早慶お互いのプライドをかけた早慶戦を観ていたのが出場できることに感謝しながら、大暴れするために、チームに少しでも貢献し勝利に繋げるために精進していきます。

伊藤誠一郎先生の寝技講習

商学部1年 山田陸斗

昨年度から塾柔道部では、選手の更なる発展を目指すということから、塾外の外部講師の方々からトレーニング、寝技、組み手など様々なご指導を頂く機会を設けています。その一環として夏休みから数回にわたり、朝飛道場出身で現在は総合格闘技を中心に活躍されている伊藤盛一郎先生に寝技の技術を指導して頂いています。

講習では、十字固め、三角絞めの基本的な技の入り方から、柔道選手があまり使わない難易度の高い技の入り方など様々なパターンを教えてくださいました。実際にやってみると多くの部員が苦戦していましたが、自分のものにしようと積極的に伊藤先生に質問をし、とても良い時間を過ごすことができました。

単に寝技と言っても私達にとっては一つの技をどのようにして決め切るかを重視して練習に励んでいましたが、柔術は一つの技からどのように派生させ次の技に繋げていくかを考えながら練習に励んでいるところに違いがあると感じました。

関節技を取りにいく姿勢が見られるようになりました。また、立技から寝技への移行でもスムーズに技に入れる選手も増えてきました。この講習で学んだ技術を含め更に寝技への意識を高めるべく部員一同精進して参ります。



一貫校

経済学部1年 石村勇人

慶應義塾柔道部は、縦のつながりがとても強く、年代関係なく出身校や年代関係なく先輩後輩の密接な関わりがあることが最大の強みです。塾柔道部では毎年1月の頭、新年早々に寒稽古、7月に暑中稽古が行われております。早朝5時半から幼稚舎、中等部、普通部、湘南藤沢中等部、慶應義塾高校、湘南藤沢高等部、現役の大学生、80歳近くのOB、OGの先輩方までが一堂に会し、同じ道場で稽古をするという他の大学の柔道部ではほとんど見られない光景が見られます。他にも三田柔道祭や先輩稽古等、所属や歳の違う塾生が一堂に会する稽古を先輩方に数多く行って頂いております。

このような先輩稽古の目的として、三様の稽古というものがあります。自分より実力のある相手に対して全力でぶつかり、思いっきり攻めるといったぶつかり稽古。自分より実力の劣る相手に対しては相手の技をしっかり受けて、力任せではなく動きに合わせて正しく投げ導いてあげる引き立て稽古。実力が競る相手には、お互いの本気をぶつけ合う互角の稽古。この三つの稽古が塾柔道部の先輩稽古の中に凝縮、体現されています。私も湘南藤沢中等部高等部生だった時は、この先輩稽古に参加し、このような稽古があるのかと感銘を受けました。大学生の先輩に技を受けてもらい、幼稚舎生相手には技を受け止めて正しく投げられ、慶應義塾高校生相手には投げるか投げられるか稽古をする、このような三様の稽古のおかげで、私は強くなることができ、強敵と渡り合えるようになったと実感しております。

現在、慶應義塾體育會柔道部が活動出来ているのは、常日頃から支えてくださるOB、OGの皆様のお陰です。現役部員として、このような素晴らしい環境に身を置けていることに感謝し稽古に取り組み、結果を出して皆様に応えます。また、後輩達にも慶應義塾體育會柔道部員の姿勢を行動で示していきたいと思っております。そのために、日々を大切にして、精進して参ります。



朝練

商学部4年 平山雅士

今年度に入り、コロナ禍以前に実施されていた朝練を復活させました。朝練の頻度は週2日、平日の朝に行います。メニューは基礎体力の向上を図ったもので、春学期は階段ダッシュ・インターバル走・HIITトレーニングの中から一つを実施するというものでした。この朝練メニューですが、結構キツイです。特に、インターバル走は塾高柔道部の朝練を彷彿とさせるものであり、前日の夜から憂鬱になってしまいます。

そして、秋学期からはメニューを大幅に変更し、サーキット・ローイングエルゴ・パワーマックスと全く新しいものになりました。メニューの考案にはトレーニングコーチの渡邊勇人先生が携わっており、強度・質ともに高いカラダづくりができています。

朝練を通じて部員一同、基礎体力を向上させ地力の底上げに繋げて参ります。皆さん眠い目を擦りつつ、早起き頑張りましょう。



相撲

商学部1年 大月楓

先日、長谷川先輩とともに、相撲部の試合の補欠として、同部の稽古に参加させて頂きました。私は負傷により一度のみの参加となってしまいましたが、その一回の稽古の中でも、今後の柔道につながる、二つの大きな学びを得ることができました。

一つ目は、重心についてです。相撲部の稽古は、重心移動・重心の高さについて意識したものが多く、重心を置く場所やその移動について、細かい技術が沢山あることを知りました。自分に重心を置いた状態を維持しつつ、相手に圧力をかけるための足の位置などの気づきを得ることができました。

二つ目は、攻撃的な姿勢です。相撲では巨体同士が激しくぶつかり合いますが、誰も怯むことなく全力で突っ込んでいく姿を見られたことで、また実際に経験させていただいたことで、自分の精神がいかに脆弱かを学ぶことができました。

今回の貴重な経験を柔道に活かせるよう精進して参ります。

日吉キャンパスの1日

商学部2年 土屋実里留

- 6:00 起床 おはようございます！テレビをつけながらゴロゴロして二度寝。
6:30 洗濯、お掃除をして湯船に浸かる。
9:00 朝ご飯。コーヒーとおにぎり。
9:50 電車で日吉へ。日吉終点では無くなったので寝過ごし注意！
10:30 日吉到着。
10:45 2限。フランス人気分でフランス語での対話に勤しむ。
12:15 授業終わり。友人と食堂でランチ。
13:00 3限。英語リーディングの授業。楽しい。
14:30 授業終わり。生協のメロンパンを片手に友達と次の授業へ向かう。
14:45 4限。英語スピーキングの授業。苦しい。
16:15 授業終わり。スタバやミスドで飲み物とおやつを購入し、柔道場へ移動。
17:00 ドリンクの準備や備品整理、ゴミ出しなどを行い道場を綺麗にする。
18:00 練習開始。事務作業、動画撮影などマネージャー業務を行う。
20:00 練習終了。ドリンクを片付け、部員たちとおしゃべり。
21:30 夜ご飯。夜遅いのでサラダ。
0:00 お風呂
1:30 就寝。明日のタスクを書き出してから寝る。おやすみなさい！



三田キャンパスの1日

商学部3年 藤井大志

三田キャンパスの1日を紹介します。

- 6:00 起床。朝練のため早起き。眠い。
- 7:00 日吉道場で朝練。今日はパワーマックストレーニングで朝から限界を超え、吐き気を催す。
- 7:30 シャワーを浴び、いざ三田キャンパスへ。
- 9:00 1限開始。2時間続けて経営学のお勉強。同じ経営学でも学ぶことは全然違って面白い。
- 12:30 昼食。二郎に行こうと思ったが激混みだったので学食で我慢。今度また来よう。
- 13:00 3限開始。また経営学。少し疲れる。
- 14:30 日吉キャンパスへ移動し、練習へ。よし頑張るぞ。
- 16:30 練習開始。今日は5分×6本、4分×6本のメニュー。
- 18:30 練習終了。練習後の自主練は必須。
- 20:30 帰宅。夕飯とお風呂を済ませ、ストレッチで疲れをとる。
- 22:00 自由時間。課題を進めたり、動画を見たりまったり過ごす。
- 23:00 睡眠。今日の反省と明日の目標を考えながら眠りにつく。明日も頑張ろう。



SFCキャンパスの1日

総合政策学部2年 酒井ひろの

- 6:00 起床。寝坊が怖いのでアラームは1分おき。
- 7:00 朝練。今日はサーキットを行った。
- 8:00 SFCに移動する。新横浜線が出来たので日吉から乗り換え無しで40分程で移動できるようになった。
- 9:25 1限開始。既に少し眠い。
- 12:40 午前の授業を終え、昼食をとる。大学内にあるサブウェイや学食を使う。
時間の無い時はローソン。
- 14:45 午後の授業を受ける。
- 16:15 授業を終え、日吉道場に移動する。
- 18:00 練習開始。4限まで授業を受けると練習開始までの時間にあまり余裕はない。
- 20:00 練習終了。トレーニングをしたり、雑談したりしてつい帰りが遅くなってしまう。
- 20:40 帰宅。帰り道に買い物なども済ませる。
- 21:40 お風呂や洗濯、課題などをこなす自由時間。
- 23:00 就寝。朝が早く眠いので早めに寝る。



寮の紹介

総合政策学部 2年 井口虎太郎

今回は私を始め部員の約5割が住む柔道部員専用寮「六徳舎」について書かせて頂きます。

今年度の六徳舎のメンバー構成は1年生4人、2年生2人、3年生4人、4年生3人の計13人です。部屋割りは1から5号室に学年をシャッフルして各部屋2から3人ずつが生活する形で構成されています。私が1年生の頃は4年生2人と生活していました。最初はもちろんガチガチに緊張しましたが、部活の時間だけでは決して見ることの出来ない先輩方の姿を見ることができ、本当に仲を深めることができました。部屋が違って飯や風呂は共用のスペースとなっているので、当然他の先輩とも道場だけでは築くことの出来ない、アツイ絆で結ばれます。

寮と聞くと地方の人が入るイメージが強いと思います。しかし、僕含め、神奈川、東京、千葉など、通える距離に実家がある人は実はかなり多いです。六徳舎は日吉駅まで自転車で5分の好立地にあるので一度住むと実家から電車では通えなくなります。また、オフの日は実家、練習がある期間は寮という、オンオフの切り替えにとっても適した使い方ができるので、そこもおすすめポイントです。

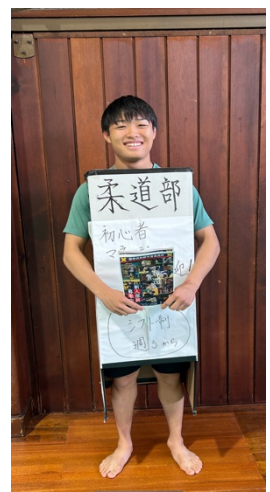
これを読んでくれている中高校生の皆さん、ぜひ、慶應義塾体育会柔道部に入部し、六徳舎で青春を謳歌しましょう。また、スマブラが得意な方、大募集しております。スマブラの腕に自信がある方、やったことないけど興味のある方、六徳舎でお待ちしております。

新歓活動

経済学部 3年 小林謙太

ようやくコロナウイルスが収束し、今年は盛大に対面で新歓活動を行うことができました。今年はAO入試で部員を獲得できなかった為、例年より力を入れて新歓活動に励みました。新歓が始まる1ヶ月前から広報部門でミーティングを重ね、新歓活動に向けて入念な準備を行いました。SNSの活発な投稿はもちろん部員でシフトを組み、新歓期間内は毎日日吉キャンパスとSFCでビラを配りました。またキャンパス内だけでなく、複数の日吉の飲食店にご協力頂き店内に大きなポスターを掲載いたしました。その甲斐あり今年は9名の選手、1名のマネージャーを新入部員として迎えることができました。部を上げての新歓活動は新入部員の獲得だけでなく、部の結束を改めて感じる事ができた経験となりました。

まだまだ新入部員を募集しております。経験の有無は問いません。私達と共に切磋琢磨し、実りある大学生活を送りたいという方、大歓迎です。まずは気軽に道場に足を運んでみてください。



マネージャー活動報告

〈活動報告〉

法学部政治学科3年 猪熊彩

失礼いたします。マネージャーを務めております、法学部三年の猪熊彩です。

まず初めに私から、近況報告をさせていただきます。10月初めに薬学部1年の海部花が新たにマネージャーとして加入しました。(4年生1人、3年生2人、2年生1人、1年生1人の計5人体制となりました。)海部は部に新しい風を吹かせてくれると同時に、早速基本的な業務をマスターし、既に一人前のマネージャーとして、部に貢献してくれています。今年から試合や行事がコロナ禍以前と同じように開催されるようになり、新たな業務、責任も増えましたが、マネージャー兼主務の望月あかり先輩の下で、一同、試行錯誤しながら連携して活動しております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

〈活動内容〉

経済学部3年 土屋文乃

猪熊に代わって、日々の活動内容についてご報告させていただきます。マネージャーの仕事は何か。質問をいただく機会が多いですし、大それたことはしていないのでその度に返答に困ります。ですが、意外と仕事は多く地味な作業をこなす毎日です。練習のサポートや書類作成に加えて会計もマネージャー業の一部で、私は主に会計を担当しています。本日は会計の活動内容をご紹介します。

会計業務は主に日々の帳簿記入と資金管理ですが、金銭に関係することは全て携わります。遠征先のホテルや交通手段の手配、部費や遠征費の徴収、寄付金申請や領収書の管理。大会出場料やコーチ謝礼の振込、衛生用品の定期的な発注なども会計の仕事です。資金難を防ぐため、お金を使う際は価格の変動を追いながら節約を心がけています。必要なタイミングと安いタイミングが合わないのは私の小さな悩みです。このように柔道部の財政に気を配りながら過ごす日々は気が抜けませんが、私は大好きな仲間を想う気持ちをモチベーションにしています。

一番のこだわりは、遠征での宿泊先が試合前日の休養に適切なホテルであるか。14人分のシングルベッドを予算以内で確保するのは意外と大変な作業なのです。試合前は湯船に浸かって欲しいし、なるべく綺麗な部屋で過ごして欲しい。飛行機は体型に応じて席順を考えたい。全て自己満足ですし、適切かは分かりませんが、小さな愛情を重ねながら丁寧な仕事を心がけています。もし、人を支えることや、細かな気遣いにやりがいを感じる方がいれば、是非マネージャー業に挑戦してみませんか？私たちはいつでも皆さんをお待ちしております！



暑中稽古

商学部3年 南雲宥位

慶應義塾体育會柔道部は去る7月15、16日の2日間に渡り、暑中稽古を三田綱町道場にて開催しました。暑中稽古は毎年7月頃に開催され、期間中は早朝5時半という大変早い時間帯から稽古を行います。新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、綱町道場での暑中稽古開催は実に4年ぶりとなりましたが、コロナ禍以前と変わらず、幼稚舎生からOB、OGの先輩方までが一堂に会し、共に汗を流しました。また今回の暑中稽古は、コーチのピエール・フラマン先生の紹介で、フランスの柔道チームの皆さんにも稽古に加わって頂いたことや、OBの先輩方対現役学生の交流試合も開催されたこともあり、久しぶりの開催ながら例年にも増して盛り上がりを見せました。

そして、すべての日程の稽古が終わった後は、道場にて食事会を行い、先輩方や内部生と現役学生が交流させていただく貴重な機会となりました。

慶應義塾体育會柔道部の最大の魅力は、世代を超えた強い繋がりであり、それを肌で感じることでできる行事の一つが暑中稽古になります。これからもこの良き伝統を繋いで行けるよう、学生一同これからも精進して参ります。



柔道と資格試験

法学部政治学科3年 進士凱一

昨年度から私は国家公務員になるため、国家公務員(総合職)の試験勉強に励んでいます。具体的には、大学卒業後、外務省に入って日本を代表する外交官として他国との外交関係を築き、常に変化する国際社会に貢献したいと思っています。これは私の夢であり、情熱です。

しかし、国家公務員になることは決して容易ではありません。公務員試験は受ける区分によって科目が異なりますが、私が受ける区分である政治・国際区分では、主に政治学、国際関係、憲法、行政学、行政法、そして国際法があります。それに加えて数学や歴史、思想などの一般教養科目もあります。科目数が非常に多いため、これらをカバーするためには毎日少なくとも5から6時間は勉強しています。やはり、短期間にいかに知識を吸収できるかが重要です。時間をしっかり管理する必要があります。

資格勉強と柔道を両立するのは少々大変ですが、体育会柔道部に所属している公認会計士試験に合格した先輩からアドバイスを受けたり、また幹部と同僚と相談した結果、勉強のために週3日休む特別制度を設けていただいたりしました。部のみなさんが私を応援してくれているので、必ず受かって戻ってきます。私の周囲のみなさんには感謝しかありません。

柔道に触れてみて

薬学部1年 海部花

私は小学生の頃から、柔道がかっこいい、と憧れてきました。道着がかっこいい、帯や裾を直す仕草がかっこいい、体格がかっこいい。真剣で鋭い眼差しがかっこいい、そして柔道家は優しい。塾柔道部にマネージャーとして入部してみて、そんな漠然としていた魅力を確認し直すとともに、まだまだ底知れない柔道の魅力を、新たに少しずつ知り始めています。初めて道場に入った時、選手の動きで揺れる地面や投げの時の音の大きさにすごく心が踊りました。ほぼ直感的に、その空間にいただけのものすごく楽しいと思いました。そして練習前後の礼、丁寧に毎朝する掃除、練習中のストイックで厳しい雰囲気から一転、楽しそうな皆さんの柔和で謙虚な雰囲気がとても素敵だなと思いました。柔道について勉強すると、礼の精神を基調としたスポーツだということがわかり、塾柔道部に漂うあたたかな空気の理由を知りました。己と向き合うことを追究し、僅かでもマネージャーとして皆様の支えになりたいという一心で、精進して参ります。

初心者から始めて見て

経済学部2年 長谷川大雅

私が、柔道部に所属する事を決断したきっかけとして、昨年の秋学期の体育の授業で高校からの付き合いの友達と一緒に取らないかと誘われて、何となく受講した事がきっかけでした。父の仕事の都合上、テレビでたまに放映されている世界柔道やオリンピックの柔道をみていて、痛そうだけど面白そうだなとは思っていました。しかし、実際に柔道をする事は初めてだったので、帯の結び方や柔道着の着方もままならない状態からのスタートとなりました。

そして、体育の時間では、大外刈りなどの基礎的な立技を習得しました。この経験を経て、もっとこのスポーツを深掘りしてみたいなと思い、前々から柔道自体に興味を持った事も重なり、入部を決意しました。しかし、入部をしてからは、いきなり乱取りを行う事は危険なので、ひたすら受け身などの基礎的なトレーニングを行いました。そして、あっという間に時が流れ、8月に行われた戸狩合宿も経て、少しずつではありますが、技の精度も上がり、他の部員がこなしている練習メニューにもついて行けるようになりました。まだ入部して半年足らずしか経過しておらず、まだまだな部分は多々あるとは思いますが、あたたかく見守って頂けたら幸いです。



ゼミ活動と柔道の両立

法学部法律学科3年 成宮陸雄

体育会の学生とはいえ、学生である以上その本分は学業にあります。慶應義塾大学の多くの学部では、1、2年は日吉キャンパスで基礎を積み、3、4年に三田を始めとしたキャンパスで、教授が持つ研究会に所属するなどして専門、応用を学ぶという流れが主流になっており、SFCキャンパスでは1年次から研究会に所属することもできます。柔道部の部長を務めておられるオステン教授も、法学部法律学科で研究会をお持ちであり、国際刑事法をテーマに研究を行っていらっしゃいます。

研究会に入門する意義は、大学の大きな講義室で行われる座学では得ることが難しい、現場・実体験を自ら検証することによる学び、即ち慶應義塾が大切にしている理念のひとつである「実学」を実践することにあると思います。自ら能動的に考えて修得した知識は記憶に深く刻み込まれ、日常生活や将来の仕事に活かすことができる一生モノの学びとなります。

ただ、実学を得ることができる場は研究会だけではありません。慶應義塾大学の柔道部では、各試合での勝利を目指して選手が主体となり、そのために何を為すべきか日々考え、実践しています。学業の学びではありませんが、これもまた実学です。さらに、柔道部に所属しつつ研究会に所属し活動を両立することで、柔道部で感じたことが研究会で活かされたり、逆に研究会で学んだことが柔道部の活動を助けたりすることもあります。私が所属する研究会では経済法と交渉学を学んでおり、そこで培われた論理的な思考力は柔道部でのトレーニングメニューの作成などに大いに役立っています。また、柔道部で養ったチームワークや積極性は研究会での資料作成や発表に活かされていると感じています。他にも柔道部のほとんどの学生が研究会に所属し、その活動を両立させています。

部活動と研究会の2本の柱による実践的な学び。これが慶應義塾大学の、そして柔道部の大きな魅力であると思います。



慶應義塾高校に合格して

理工学部1年 石畠大誠

2023年4月、慶應義塾大学理工学部に入學しました。入學に伴って、短い大学生活で成し遂げたい目標が沢山ありますが、それと同時に過去を鑑みる機会となりました。今回は、慶應義塾高校で過ごした3年間を振り返ります。

3年前、地元・富山県から上京して、親元を離れた寮生活が始まりました。決められた時間に起きて、自分の支度・洗濯を全て自分で行って、……。今となっては当たり前のことも、当時はかなりの負担になっていました。さらに、入學した年はコロナが流行した年だったため、思い描いていた学校生活とはかけ離れた生活が続きました。6月に分散登校が開始され、7月に部活動が部分的に解禁されましたが、それまでの間は何もすることの出来ない日々が続きました。その後も、約1年間で重なる緊急事態宣言の影響で、休校と開校が繰り返される時期が続き、学校生活も柔道の練習も思っていたものとは全然違い、いろいろ考えて行動する必要がありました。

2年生になってコロナは少し落ち着き休校になることはなくなりましたが、大会は一部の大会のみの開催でした。選手権や金鷲旗といった、高校柔道のビッグタイトルに予選すら出場することが出来なかったり、そもそも大会が開催されなかったりしました。自分自身の努力ではどうしようにも出来ないことが続きましたが、それでも努力を怠らず、切磋琢磨していました。

3年生になってほぼコロナが収束しましたが、怪我をしてしまい、思ったような結果を出すことは出来ませんでした。しかし、チームのキャプテンとして団体戦では最低限の仕事を果たすことは出来たと思っています。特に、金鷲旗では、大将としてビハインドの展開から逆転勝ちした試合は鮮明に覚えています。

私の高校生活3年間は、コロナを始めとして様々な不足の事態に見舞われ、大変なことがたくさんありました。ですが、思い出の一つすら忘れることの出来ない、とても濃密な時間だったと思います。



一般入試に合格して

総合政策学部1年 宗広泰河

私が慶應義塾大学を受験しようとしたのは、共通テストが終わった直後でした。一度、慶應義塾大学、塾柔道部の話は聞いていて、実際に練習にも行きました。しかし都合が合わず、A0受験をすることができませんでした。共通テストで目指していた点数を取れなかった私は、第一志望に受かるのが難しい状況になり、これからどうするか、とても悩んでいました。正直そういう状況で慶應という選択肢を考えることができていませんでしたが、そこで母が「慶應受けてみる？」と急に言い出し、慶應を一般受験することに至りました。

私の受験方式は、数学と小論文の2科目受験です。2科目しかないからこそ、どちらも非常にハイレベルであり、過去問を解いた時は「絶対解けない」と感じました。しかし自分に残された僅かな希望を持ち、勉強を続けました。

いざ試験本番の日、私は地元が福井とだけあって、なかなか来れない都会に来れたことが嬉しく、旅行気分で行いました。試験会場にいる受験生が勉強道具を広げている中、私は携帯でゲームをしていました。今思えば、それくらいリラックスしていたから、いつもの力を出し、合格できたと感じています。

受験を通して、私は本当に多くのことを短期間で学べたと感じています。受験での挫折と合格の達成感の中には、簡単には言い表すことができない色々な思いが詰まっています。受験中は上手いかな不安から母親に強く当たってしまったり、全く自信を持てなかったりなど、逃げ出そうと思った時が数えきれないほどあります。今までの経験では感じたことのないプレッシャー、将来への不安、後悔の連続、そして先が全く見えない中で努力し続ける辛さ、これらは今思えば良い経験であると感じていますが、本当に精神的にも肉体的にもキツかった日々でありました。この経験を培った私は、高校生までとは違う、人としての強さを得られたと感じています。この経験を活かして色々なことにチャレンジしていこうと思います。



戸狩合宿

総合政策学部 2年 島田智宏

初めての戸狩合宿を終えて、心身共に成長したことを実感しています。行く前は緊張していました。合宿を何度も経験している先輩達からは「地獄だよ」と言われていたこともあり、出発当日は恐怖さえ抱いていました。実際、戸狩合宿を振り返ると、地獄でした。毎日のように山道やゲレンデを走り、そしてその後は乱取り稽古をしました。3日目になると、もはや足の感覚無くなるほど疲労が溜まり、翌日にもラントレがまっていることを考えてだけで胃が痛くなりました。しかし、それは「身体面」だけの話です。一緒に食卓を囲み、一緒にお風呂に入り、一緒に寝て、そして一緒に稽古に励むという環境は、精神的においてとても充実していました。柔道は個人競技だと思われがちですが、この経験はチーム競技でもあるということを教えてくれました。一番印象部会思い出は最終日前夜のBBQです。部員それぞれがお互いに合宿を「生存」したことを労い、疲れが一気に吹き飛びました。思い返せば辛いことよりも誰かと笑いあった瞬間の方が多かった気がします。



講道館練習

商学部 2年 入道隼人

現在、塾柔道部では選手の更なる強化の為、毎週水曜日に講道館の大道場で行われている、実業団合同稽古に参加させて頂いております。

稽古のメニューは17時半から30分寝技乱取りが行われ、その後18時に一旦整列をし、嘉納師範の御写真に一礼をします。その後10分間の打ち込みを行い、18時10分から5分半の15本の乱取り稽古を行い7時40分頃に全ての稽古が終了します。

講道館で行われている実業団の稽古には各強豪と言われている企業の日本トップクラスの選手と、その様な選手と稽古をしたい大学生や高校生、及び海外の選手が参加しております。参加している選手は全国大会や国際大会で活躍している選手が数多くおり、乱取り稽古で組んで頂く事で強さを実感し、組手や身体捌き、技のタイミング等、多くの事を吸収出来ます。また実際に組み合わせただけでなく、5分半の15本の中から数本休んだ際に強い選手の乱取りを見る事で多くのテクニックを学ぶ事が出来、高度な「見取り稽古」を行う事が出来ます。

この講道館で行われている実業団の稽古の特徴としてもう一つあるのが、実業団、大学、高校等、数多くの団体が参加している為、数多くの多種多様な選手と乱取り稽古が行えることです。実際の試合では一度も組み合った事が無い選手と当たる場合がほとんどです。そこで不慣れな相手と戦いながらおく必要があり、その能力が多く養う事が出来るのが講道館での稽古と思います。

塾柔道部では講道館での実業団合同稽古に参加させて頂けるといいう貴重な機会を設けて頂いております。この経験を糧に試合で勝ち進んで行ける様、部員一同で精進して参ります。

マネージャーと主務業務を兼任して

経済学部4年 望月あかり

お世話になっております。望月です。私は柔道部にマネージャーとして入部して、今年度の主務も務めています。「主務」とは部の運営を担う、学生の責任者といえる役職で、毎年選手が務めてきたので、マネージャーの主務は、塾柔道部では初めてです。入部来、部の全てを把握し、いつも部員に囲まれている先代主務の先輩方に憧れていたのですが、自身の主務拝命を知った際には、その後を継げることを嬉しく思う一方で、責任の重さに身体が震えました。

マネージャーという身から、全国大会での活躍／早慶戦優勝という高い目標掲げる、伝統ある塾柔道部にどう貢献できるかと考えた結果、(1)自分に足りない柔道知識や選手の視点を、部員と連携することで補うこと、(2)コロナで中止されていた伝統行事を復活させ、次年度以降に続く土台をつくることだと思ようになりました。

特に(1)に関して、試合のプレッシャー、体調管理への意識の高さ、負けてしまった時の悔しさといった当たり前の感覚がないことで、配慮不足によるミスと不信感を生んでしまったと反省しています。そのため主将の都倉とは事ある度に話し合い、また、様々な情報を学年全体で共有し議論することで、より選手に近い目線から運営できるよう意識してきました。その中で試行錯誤を通じて、関西九州遠征、慶應杯、すき焼き会、暑中稽古といった行事の復活に漕ぎ着けることもできました。

勿論うまくいかないことも沢山ありますが、部員達と部について語る時間や、試合や行事が無事終わった時、何より試合に勝ち選手と分かち合う喜びは、何にも変え難いです。引退まで残り2ヶ月弱と驚くほど短いですが、まだ早慶戦という最後にして特別な試合が待っています。今年の早慶戦は、4年ぶりに入場制限なしで講道館で実施する予定です。最後まで粛々と活動したいと思いますので、引き続き、宜しくお願いいたします。

最後に、本冊子は、高校生の読者もいらっしゃると思います。当部には、主務やマネージャーなど多様な立場から、やりがいと誇りを持って関わると知っていただければ幸いです。



就職活動を終えて(日本取引所)

法学部法律学科4年 細谷颯太

法学部法律学科4年の細谷颯太です。

就職活動においては、OBの先輩方に様々な側面でサポートして頂き、私も含め、4年生全員が無事、就職活動を終える事が出来ました。先輩方、誠に有難う御座いました。

この度の就職活動を通じて、感じた点が2点あります。

1点目に慶應柔道部の繋がりの深さです。就活を始めた当初、幅広く業界を見ていた私は、どの業界にも柔道部の先輩方がいらっしゃる事に気が付きました。OB訪問をお願いした際にも先輩方は快く受け入れて下さり、改めて柔道部が如何に恵まれた環境なのかを感じました。来年度から社会人になりますが、これからも御指導御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

2点目に日々の柔道部の活動が就職活動に密接するという事です。就職活動を通して、面接の中で柔道部の活動に対する質問が多く有りました。その際には、如何に日々の体育会活動の中で悩み、考えて行動したかどうかという点が最も大切だと感じました。選手として、マネージャーとして、形を問わずどのように部に貢献する事が出来たのか、又出来るのかを考えながら活動する事には大きな意義があります。その延長線上に就職があるのだと認識して後輩達にも頑張ってもらいたいと感じています。

上記2点が私が感じた点になります。来年度からも柔道部に様々な形で貢献させて頂く所存ですので、宜しくお願い申し上げます

講道館杯に出場して

令和4年卒 五十嵐莉子

赤と黄色の暈は思っていた以上に眩しくて、主役感を一層際立たせた。

2年前、最後の早慶戦。

幼い頃から私には柔道があった。たった一つの特技だったが、それだけで人生の決断が容易になっていた。

しかし、今私が戦う社会の中でそれは“自己紹介”のひとつにしかならないことに気がついた。必要とされているのは、場に見合った自信と度胸を備え、自分の存在価値と働きを結果として発揮できるか否か。社会に試されている私は、ジレンマを感じていた。何か“刺激”が必要だと思った。

「現役時代に柔道やるのは普通だけど、社会人になって働きながら試合出るとちょっとだけ普通じゃないかも」

私は、人並みに諦めるし、気持ちが弱い、所謂普通の人間だ。ただ、それ故に“目に見える選択”くらは、普通じゃない方を“決断”したいとも思っていた。

“刺激”を与える意味でも、自分らしい“決断”をするためにも、ふと、思いついてしまった「試合に出る」という選択肢を選ぶほかなかったのだ。

出場するからには勝てる可能性が高い階級を選択すべきだ。しかし、それは7kgの減量を意味する。また、様々な制約下で十分に練習ができないことや長年患っている椎間板ヘルニアの影響で脊柱へ強い負担がかかることが懸念された。しかし、多少の犠牲は払っても構わないと思えた。平日は職場から蒸発するように消えてジムへ、休日は稽古に向かう日々が続いた。

むかえた、講道館杯。きっとこの会場にいる誰よりも弱い。そんな気持ちで望む試合は初めてだった。試合前恩師から「大舞台でドキドキできるって、まだ羨ましい。胸を張って堂々と戦え」そう言われた。結果は、敗退。しかし、今までの試合で最もその過程にストーリー性を感じた大会だった。

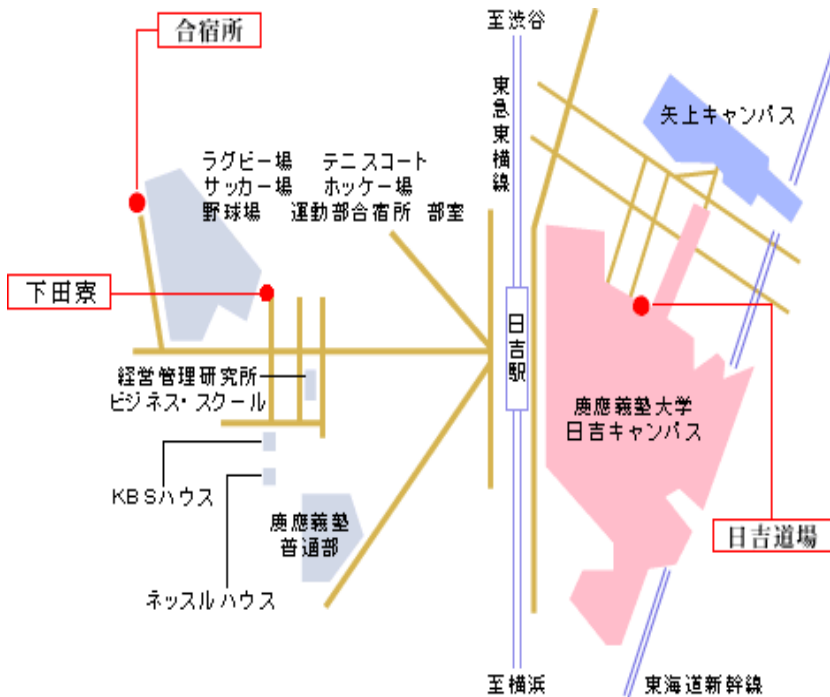
試合を終え、会社に行くとまた普通の日々が再開した。私が柔道をしたから、試合に出たから、特に何も変わらなかった。変わったことといえば、脊柱の湾曲角度と面白い“自己紹介”が増えたことくらいだった。

最後に今回の試合出場にあたり、ご支援いただいた慶應柔友会の皆様をはじめ、同期、後輩、この場を借りてお礼申し上げます。今後も塾柔道部の更なる発展に向け尽力してまいります。



柔道部関連施設紹介

～キャンパス案内～



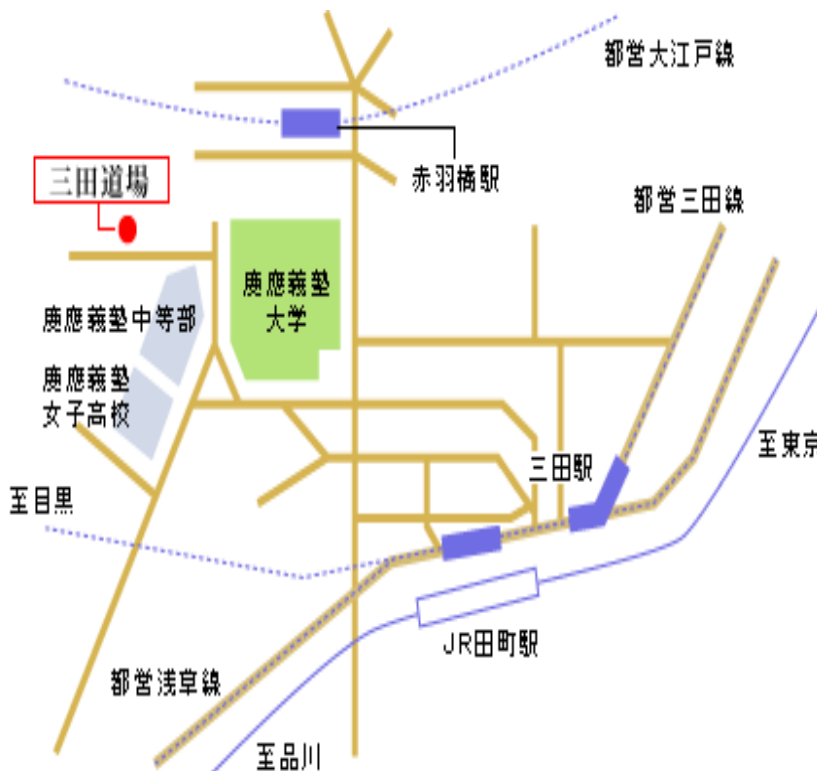
〔日吉道場〕

大学生が普段の稽古で使用している道場である。火・金は16時半から、木曜日は18時から、土・日は9時から稽古をしている。道場には豊富なトレーニング機器が備えられている。

例年、慶應杯はこの道場で開催されている。

〔合宿所〕

柔道部員のための男子学生寮である。寮費・光熱費込みで月3万円。現在12名の部員が住んでいる。2008年10月に完成された。



〔下田寮〕

体育会学生・留学生宿舎。充実したトレーニングルーム、浴場、食堂などを完備。寮費は月4万5千円。

〔三田道場〕

慶應義塾体育会柔道部とともに歴史を刻んできた柔道場であり、正月の寒稽古、夏の暑中稽古をはじめとした柔道部の伝統行事が行われる。

平成以降就職先リスト (2023年度卒含む)

(銀行.証券)	(エネルギー)	ワコール 1
三菱UFJ銀行 7	東京電力 2	本田技研工業 1
三井住友信託銀行 5	九州電力 4	キーエンス 1
三菱UFJ信託銀行	関西電力 1	SONY 1
野村証券 3	中部電力 1	伊藤忠丸紅鉄鋼 1
Jトラストグローバル証券 1	四国電力 2	トヨタ 1
みずほ銀行 7	JXエネルギー 1	UACJ 1
マッコーリーキャピタル証券 1	(IT通信)	(その他)
信金中央金庫 1	NTT 1	慶應病院
静岡銀行 1	TIS 1	JTB
千葉銀行 1	富士通エフサス 1	警察庁
日本取引所 1	(建設.不動産)	日本総合研究所
(生保.損保)	三井不動産 1	日経リサーチ
東京海上日動火災保険 14	三菱地所 2	国際協力事業団
日本生命 3	野村不動産 2	資生堂
明治安田生命 2	三井不動産ビルマネジメント 1	塩野義製薬
住友生命 1	鹿島建設 4	学習院初等科
損保ジャパン日本興亜 1	(百貨店)	桐蔭学園高校
あいおいニッセイ同和損保 1	高島屋 2	写真家
(マスコミ・出版)	(食品・飲料メーカー)	井田産業
フジテレビ 3	サントリー 11	東急ホテルズ
NHK 2	味の素 10	JKホールディングス
TBS 3	明治 1	ニトリ
文芸春秋 1	宝酒造 1	あずさ監査法人
(広告)	キリン 4	
電通 3	(その他のメーカー)	
博報堂 1	三菱電気 1	
(商社)	三菱重工 1	
三井物産 8	キャノン 1	
三菱商事 5	シャープ 1	
伊藤忠商事 3	東邦チタニウム 1	
丸紅 3	トンボ楽器 1	
双日 1	リコー 1	
(航空.海運.交通)	横浜ゴム 1	
全日本空輸 1	日産自動車 1	
日本航空 2	アドバンスト 1	
日本郵船 1	富士通 2	
近畿日本鉄道 1	日鉱金属 1	
JR東日本 1	新日鉄 1	
JR東海 1	積水ハウス 1	
	旭化成 1	

慶應義塾體育會柔道部に関する問い合わせ

慶應義塾體育會柔道部に関するご質問等につきましては、お気軽に下記問い合わせ先までお願いいたします。

<柔道部共通メールアドレス>

keiojudostorage@gmail.com

<Instagram>

@keio_judo

<Twitter>

@KeioJudoAccount

<Facebook>

慶應義塾體育會柔道部

<HP>

慶應義塾體育會柔道部 準公式ホームページ

<http://keiojudo.net/athletic/>

- ・慶應義塾大学體育會柔道部合宿所

郵便番号 223-0064

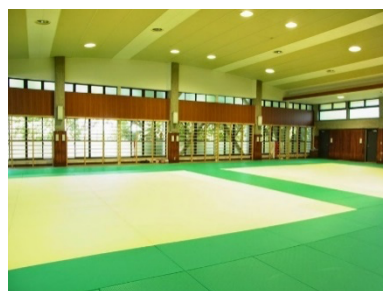
住所 横浜市港北区下田町 1-16-3 柔道部合宿所「六徳舎」



- ・慶應義塾大学柔道場

郵便番号 223-0061

住所 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1-3
慶應義塾大学日吉キャンパス体育館 2 階



慶應杯通信作成委員会

代表者	経済学部 3 年	小林謙太	Mail : kekoba0929@keio.jp
	法学部 3 年	進士凱一	
	商学部 2 年	土屋実里留	
	経済学部 2 年	長谷川大雅	
	商学部 1 年	山田陸斗	
	商学部 1 年	大月楓	